

令和2年度 シラバス

愛媛県立津島高等学校

| | | | | | | | | | |
|-----|--------|----|------|-----|----|----|----|----|---------|
| 教科 | 地理歴史 | 科目 | 日本史B | 単位数 | 2 | 学年 | 2年 | 類型 | カレッジコース |
| 教科書 | 新選日本史B | | | 副教材 | なし | | | | |

| 学期 | 月 | 単元名 | 指導項目、内容 | 評価の観点 | | | | 学習のねらい・学習の目標・評価の観点 |
|--------------|--------|---|---|-------|---|---|--|--|
| | | | | ① | ② | ③ | ④ | 学習のねらい |
| 1 学期 | 4 | 第1章 | 1 原始社会の生活と文化 1 更新世の日本 2 縄文文化 | | ○ | | ◎ | <p>一学期は、原始・古代について、我が国の気候や地形、動植物相・植生の変化などの自然環境に着目してまた学びます。また、小国の形成から大和王権にいたる過程と古墳文化の特色について学びます。</p> <p>二学期は、中世について、鎌倉幕府から室町幕府の成立過程とこの時代の武士の生活について学びます。応仁の乱後の境変化がその後の日本社会の政治や文化に与えた影響を学びます。</p> <p>三学期は江戸幕府による幕藩体制の確立とその後の天下泰平について学びます。</p> |
| | | | 2 農耕社会の形成と大陸文化の摂取 1 弥生文化と小国家の形成 2 大和王権と古墳文化 | | ○ | | ◎ | |
| | 5 | 3 律令国家の形成と古代文化の展開 1 飛鳥の朝廷と文化 | | ○ | | ◎ | | |
| | | | ” | | ◎ | ○ | | |
| | | | 2 律令国家の形成と白鳳文化 | | ○ | | ◎ | |
| | 6 | 4 摂関政治と文化の和様化 1 平安遷都と唐風文化 | | ◎ | | ○ | | |
| | | | 2 貴族社会と摂関政治 | | | ○ | ◎ | |
| 3 国風文化 | | | | ○ | | ◎ | | |
| 7 | 第2章 | 1 中世社会の成立 1 院政と荘園 2 平氏政権の登場 | | ○ | | ◎ | <p>我が国の歴史の展開を、諸資料にもとづき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させる。</p> <p>各時代の特色とその変遷の総合的考察を通じて、我が国の文化と伝統の特色についての認識を深める。</p> <p>歴史的思考力をつちかい、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。</p> | |
| 2 学期 | 8 | 3 鎌倉幕府の誕生 4 執権による政治 5 元寇と社会の変貌 6 鎌倉の仏教と文化 2 貴族社会と摂関政治 | | | ◎ | | ○ | <p>① 関心・意欲・態度</p> <p>歴史的事象と現在との結び付きを意欲的に調べ、考え、歴史を学ぶ意味に気づき、関心をもって主体的に学習に取り組んでいるか。</p> <p>② 思考・判断・表現</p> <p>日本の歴史の展開から課題を見出し、世界の歴史や国際環境等と関連付けて、実証的、多角的、多面的に考察しているか。</p> <p>③ 資料活用の技能</p> <p>日本の歴史を考察するために必要な諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択することができるか。</p> <p>④ 知識・理解</p> <p>基本的な歴史事象に関する知識を身に付け、各時代の特色を理解しているか。日本の歴史の展開を、地理的条件や世界の歴史と関連付けて理解しているか。</p> |
| | | | 中間考査 | ○ | ○ | ○ | ◎ | |
| | | | 2 武家社会の形成と東アジア 1 室町幕府の創設 2 倭寇と東アジアの交易 | | | | ○ | |
| | 9 | ” | | ○ | ◎ | | | |
| | | | 3 下剋上の社会と戦国大名 | | | ◎ | ○ | |
| | | | ” | | ◎ | ○ | | |
| | 10 | ” | ” | | ◎ | ○ | | |
| ” | | | ◎ | ○ | | | | |
| 11 | ” | ” | ◎ | ○ | | | | |
| | | ” | ◎ | ○ | | | | |
| 12 | 4 室町文化 | ” | ◎ | | ○ | | | |
| | | ” | ◎ | | ○ | | | |
| 3 学期 | 1 | 第3章 1 ヨーロッパ文化との接触と国内統一 1 ヨーロッパ文化との接触 2 織豊政権による全国統一 | | ○ | | ◎ | <p>④ 知識・理解</p> <p>基本的な歴史事象に関する知識を身に付け、各時代の特色を理解しているか。日本の歴史の展開を、地理的条件や世界の歴史と関連付けて理解しているか。</p> | |
| | | | ” | | ◎ | ○ | | |
| | | | ” | | ○ | | | ◎ |
| | 2 | 2 幕藩体制の成立 1 江戸幕府と大名・朝廷 | | ○ | | ◎ | | 備考 |
| | | | ” | | ◎ | | | |
| | 3 | ” | ” | ◎ | | ○ | | |
| ” | | | | ○ | | ◎ | | |
| 3 キリスト教禁止と鎖国 | | | ◎ | | ○ | | | |

※評価の観点 ①：関心・意欲・態度 ②：思考・判断・表現 ③：資料活用の技能 ④：知識・理解

◆学習方法のポイント

【日本史Bの勉強方法の特色】

- 日本史Bでは、日本の文化や生活がどのように成立・発展し、現在の日本を形成してきたのかを学びます。
- 予習・復習を必ずするようにしましょう。特に教科書をよく読むようにしましょう。
- 興味を持って、授業に取り組むようにしましょう。
- 日本の文化や社会の発展に興味を持ち、理解するように努力しましょう。

【授業】

- 授業では以下のことに注意してください。
 - 1 教科書を何度も読み、興味や疑問を持ちましょう。
 - 2 基本的用語については、調べて、その意味を確認しましょう。
 - 3 ノートをきれいに整理し、理解しやすいように努力しましょう。

【家庭学習】

- 教科書を繰り返し読みましょう。
- 理解できない用語は、辞書等で調べてみましょう。
- ノートは自分で工夫して、理解しやすいように工夫しましょう。
- 授業等で感じた疑問は、必ず調べたり、質問して理解するようにしましょう。

【定期考査】

- 教科書・ノートを繰り返し読みましょう。
- 重要な語句は、覚えるように努力しましょう。

◆評価の方法、規準

| | | |
|-------|--|--|
| 評価の方法 | 定期考査、授業への出席状況及び学習意欲、課題提出とその内容、ノートの整理状況を ①関心・意欲・態度 ②思考・判断・表現 ③資料活用の技能・表現 ④知識・理解の四つの 観点から評価します。ただし、定期考査を重視します。 | |
| 評価の規準 | 1 学期 | 単元テスト、期末考査(全ての観点から評価しますが主に④を重視します。) 出席状況及び学習意欲(主に①の観点から評価します。) ノートの整理状況(主に③の観点から評価します。) 課題提出状況等(主に②の観点から評価します。) |
| | 2 学期 | 中間考査、期末考査(全ての観点から評価しますが主に④を重視します。) 出席状況及び学習意欲(主に①の観点から評価します。) ノートの整理状況(主に③の観点から評価します。) 課題提出状況等(主に②の観点から評価します。) |
| | 3 学期 | 学年末考査(全ての観点から評価しますが主に④を重視します。) 出席状況及び学習意欲(主に①の観点から評価します。) ノートの整理状況(主に③の観点から評価します。) 課題提出状況等(主に②の観点から評価します。) |
| | 学 年 | 1学期の成績、2学期の成績、3学期の成績の平均 |